

チーム名	N研		大学名・学部	立教大学 観光学部	焼津ステージ
プラン名称	焼津サービスシティ ～まちをサービスエリア化～				
テーマ	「焼津温泉」を活かした持続可能な「観光まちづくり」				
リーダー名	直木 日向子	メンバー名	手塚 正宗 菊地 裕太 堀内 美来 三政 乃愛 宮川 韻		
指導教職員名	西川 亮				

## 現状把握

〈現状把握から感じたポテンシャル〉

- ①豊かな水辺空間
- ②高速道路からのアクセスの良さ
- ③豊かな温泉資源

〈現状把握から感じた課題〉

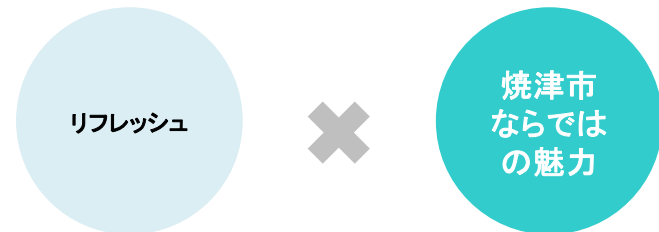
- ①観光資源の散在
- ②休憩する場所の少なさ
- ③温泉施設ごとの眺めの違い
- ④捨てられてしまう温泉
- ⑤焼津温泉の知名度の低さ

## ターゲット

「焼津サービスシティの存在を知らず、**高速道路を自家用車で利用**しており、かつ**焼津での宿泊をしない人**」

## プラン内容

### 焼津サービスシティ～まちをサービスエリア化～



まち全体が“**焼津の魅力が詰まったリフレッシュ**”を提供する“**サービスシティ**”になるプラン

〈「焼津サービスシティ」とは？〉



提供するリフレッシュは**2種類**

静

のリフレッシュ

→**疲れた体を休める**ことができる

- ・温泉施設で温泉に入る
- ・足湯に入る
- ・寝られるベンチで寝る

動

のリフレッシュ

→**身体を動かす**ことができる

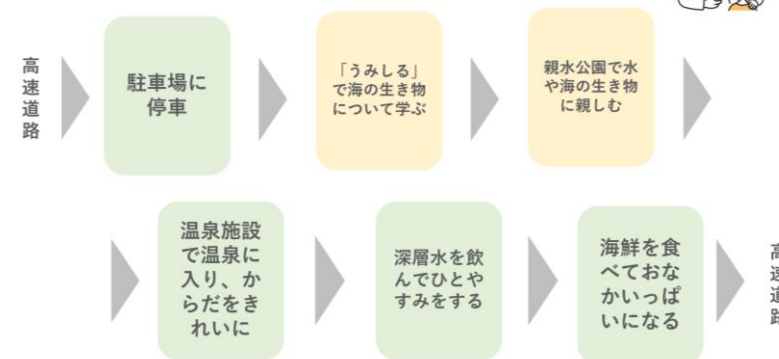
- ・飲食店でご飯を食べる
- ・観光スポットを楽しむ
- ・船や自転車による移動を楽しむ

〈新しく行うこと〉

- ・車で訪れやすくするために、**駐車場を整備**する
- ・**川の豊かな水辺空間**を生かして**船を就航**させる
- ・**海や富士山を望むことのできる足湯を整備**する
- ・宿泊施設に滞在せず体を休めることができる**寝られるベンチを整備**する
- ・移動をたやすくするため**レンタル自転車を整備**する

〈プランモデルの一例：3時間滞在の子供連れファミリー〉

3時間滞在する子供連れファミリーの例



〈クーポン〉

**高速道路の領収書**（利用証明書）が市内の温泉施設・飲食店などで使える「**高速道路利用者専用の1,000円引きクーポン**」となる！

- ・**高速道路を利用する人**にとっては、高速道路を降りて、焼津SCIに向かうことへに対して、**経済的なハードルが下がる**
- ・高速道路を利用する人にクーポンを利用してもらうことにより、**焼津市のお店の売上につながる**可能性がある
- ・これまでLINEを利用したクーポンが焼津市の様々なお店で実施されており、**実現可能性が高い**

## 効果

〈観光客に与える効果〉

- ・高速道路の**移動途中で、思い出を作**ることができる
- ・リフレッシュにより**安全な旅を続ける**ことができる
- ・**焼津ならではの魅力を楽しむ**ことができる

〈焼津市の観光に与える効果〉

- ・**ニューノーマルな観光に対応**することができる
- ・**地域資源を観光資源化**することができる
- ・今後の**リピーター獲得**につながる可能性が生まれる
- ・**スペースを有効活用**することができる
- ・**捨てられてしまう温泉を活用**することができる

〈焼津市民に与える効果〉

- ・**川の水辺空間を保全**することができる
- ・**地域住民にとっても憩いの場所が増える**
- ・**地域活性化**を見込むことができる

〈経済効果〉

一人当たり消費単価4,300円 × 76,285台 = 328,025,500円

→年間およそ**3億3000万円**もの経済効果！

## まとめ

〈新規性〉

- ① **まちをサービスエリア化するという発想**
- ② 河川の**水辺空間を生かした船**
- ③ **景色が楽しめる足湯**の設置
- ④ **高速道路利用者**に向けた**割引**

〈将来性〉

本プランを通して焼津市の魅力を感じながらリラックスを楽しんでもらう → **観光客に焼津市の魅力について知ってもらうこと**で、焼津市を最終目的地とする**宿泊目的等の観光客の獲得に！**

焼津サービスシティで焼津市の観光が発展し、焼津市が盛り上がることは間違いありません！